

# 山行報告書

報告書作成

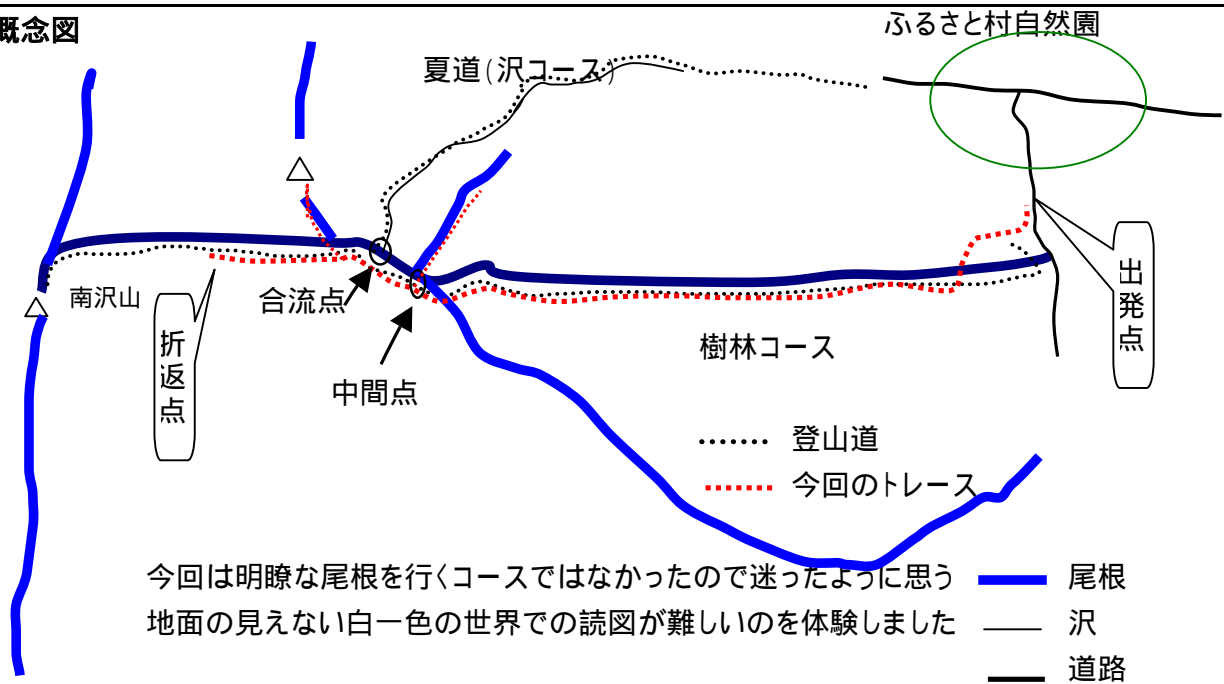
2006年1月4日

山名 [山域]	南沢山 [木曾西部]	目的と方法	新春ダイエット山行
登山期間	1月4日	山行形態	日帰り往復
参加人数	12名		

## 行動記録

岩津市民センター (525) -----道の駅「平谷」(700~705)-----清内路村「ふるさと村自然園」(740)  
 駐車場(820)-----分岐点(945)-----撤退決定地点(1300~1330)-----分岐点(1410)-----駐車場(1600)  
 清内路村「ふるさと村自然園」(1620)-----湯ったりーな(1640~1730)-----道の駅「平谷」(1800~1845)-----  
 いわつ市民センター(2010)

## 概念図



## 日誌

正月休みの最後となるこの日に「新春ダイエット山行」と銘打った雪山山行に行きました。正月中についた余分な脂肪を落とし、スマートな体とすっきりした心で仕事始めを迎えようというありがたい企画。岡崎から一般道のR153を通り阿智村でR257に左折し清内路村の「ふるさと村自然園」に向かう。昨日は稲武から降雪のため凍結していた道も今日は処理されて路面も乾き走りやすくなっていた。昼神温泉を越えた辺りからは凍結道路になったがスノータイヤの威力すさまじく、何の苦も無く目的地の「ふるさと村自然園」の駐車場に到着した。

駐車地点にあるトイレは冬季閉鎖で使用できなかった。仕度を整えワカンを着けていざ出発、道路から離れて斜面に取り付いたところからラッセルが始まった。雪はさらさらで気持ちいい雪だ、登り始めからかなりの急登で息が切れる。順次先頭を交代して登るが、時に雪に足を落としてジタバタともがく、先頭は実に大変だ。上りがゆるくなった頃に中間点の表示のある小ピークに着いた。ここからちょっと下った所が夏道で沢から来たコースとの合流点だ。ここで休憩を取って山頂に向かう。」

ここから先の樹林は樹氷になっていてすばらしい光景が続く。先頭は尾根を選んで先に進む。ちょっと尾根をたどりすぎてコースを外してしまったがCLの「夏道を確認した」と言う合図で本コースに戻った。ここから200~300mほど進んだ辺りで13:00となったので本日の山行はここまでということになった。ここでゆっくりと雪景色を楽しみながら食事を摂った。山頂に立つことはかなわず残念だが往路を戻る。合流点で最後の休憩を取り登山口に向かう。

中間点の小ピークを越えた支尾根との分岐で朝来たトレースは右方向に残っていたが左の支尾根に「こちらにいらっしゃい」と誘うようなリボンが適当についている。先頭のさんが大声でコース変更を呼びかけ、OKのサインで下りだしたが途中で急な斜面になってしまったのでここから引き返した。ちょっとしたバイトになったがかなりダイエット効果はあったようだ。(なんと温泉で体重計に載ったらいつもより3kgも減っていた)

朝のトレースを下り下山したが下りは楽だった。皆疲れた様子も見せず下山した。山頂を踏むのは次回に期待しよう。